



ソニーエナジー・デバイス株式会社
-- Sony Energy Device Corporation --

環境活動紹介

未来へ残す贈り物、きれいな地球と住みよい環境



08・05・30

化学物質環境教室普及研修会
場所 : 福島県ハイテクプラザ

コーポレート・プロフィール

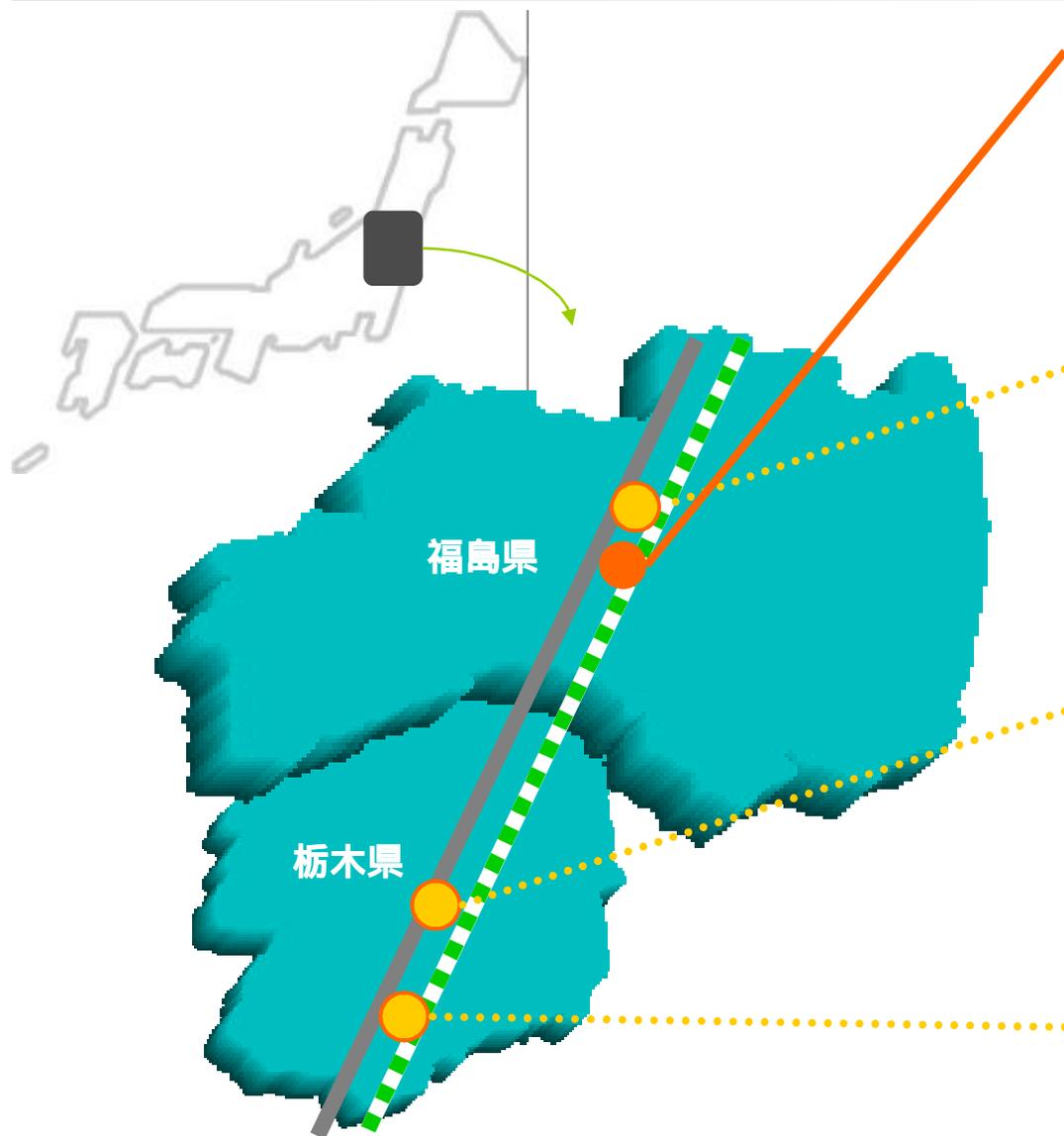
会社概要

主要事業所所在地

会社沿革

事業内容と生產品目

主要事業所所在地



福島県郡山市日和田町

1975年 ソニーエバレディ(株)設立
1986年 (株)ソニーエナジーテックへ
社名変更
2000年 ソニー福島(株)設立



福島県本宮市本宮字樋ノ口

1973年 本宮電子(株)設立
1991年 ソニー本宮(株)へ社名変更
2000年 ソニー福島(株)設立



栃木県鹿沼市さつき町

1970年 ソニーケミカル(株)
鹿沼工場完成
2002年 ソニー栃木(株)鹿沼事業所
設立



栃木県下野市下坪山

1977年 トチギビデオテック(株)設立
1990年 ソニー栃木(株)へ社名変更



会社沿革

郡山事業所

□1975 ソニー(株)と米国ユニオン・カーバイド社との合併により**ソニーエバレディ(株)**設立

? 1977 酸化銀生産開始

? 1982 コイン形リチウム電池生産開始

□1986 **(株)ソニー・エナジー・テック**へ社名変更

? 1991 リチウムイオン二次電池生産開始

? 1997 ISO-14001認証取得

? 2000 QS-9000認証取得
OHSMS認証取得

□2000 **(株)ソニー・エナジー・テック**と**ソニー本宮(株)**との合併により**ソニー福島(株)**設立

本宮事業所

□1973 **本宮電子(株)**設立

? 1973 電子銃生産開始

? 1977 偏向ヨーク生産開始

□1991 **ソニー本宮(株)**へ社名変更

? 1995 ISO-9001認証取得

? 1996 ISO-14001認証取得

? 1999 OHSMS認証取得

? 2000 パワーコムビジネス開始

ソニー栃木(株)

栃木事業所

鹿沼事業所

□2004 **ソニー福島(株)**と**ソニー栃木(株)**との合併により**ソニーエナジーデバイス(株)**設立

事業内容と生產品目

□ 事業内容

- ? 一次電池の酸化銀電池、リチウムコイン電池及び二次電池のリチウムイオン電池、リチウムイオン・ポリマー電池等の設計・製造
- ? リチウムイオン二次電池パックの設計・製造
- ? 電池応用商品の設計・製造、電源及びバッテリチャージャーの設計・製造

郡山事業所

リチウムイオンバッテリー
リチウムイオンポリマーバッテリー
リチウムイオンバッテリー電極
酸化銀電池
リチウムコイン電池
アルカリ乾電池他各種一次電池



本宮事業所

各種電源(ネットワーク/PDP他)
バッテリーチャージャー
リチウムイオンバッテリーパック
リチウムイオンバッテリー電極



栃木事業所

リチウムイオンバッテリー(液系)
光磁気ディスク(MD・DVD・CD-R)



鹿沼事業所

リチウムイオンバッテリー電極
蒸着テープ



環境活動の紹介

ソニーグループ環境ビジョン 基本理念

美しい地球に、新しい夢は生まれる。

ソニーは
あらゆる生命の生存基盤である
地球環境が保全され
現在だけでなく将来の世代にわたり
人々が健全で幸せな生活ができ
夢をもち続けられるような
持続可能な社会の実現に向けて
イノベーションと健全なビジネス活動を通じ
積極的に行動します

ソニーは
限りある資源とエネルギーを効率良く使い
大きな付加価値を生み出し
環境効率の高いビジネスを目指します

環境法規制を遵守し
エネルギーと資源の利用から生じる
環境負荷を確実に減らすとともに
汚染の防止に努めます

また複雑な環境問題の
より良い解決に向け
幅広いステークホルダーとの
協力関係のもとに知識を深め
取り組んでいきます

ソニーグループの環境活動

WWF クライメート・セイバーズ・プログラムへの参加

WWF(世界自然保護基金)と企業がパートナーシップを結び、さまざまな方法を計画・実行して**温室効果ガス**を削減していく取り組みです。

- ? 温室効果ガス削減の具体的な目標値は、原単位ではなく絶対量であることが条件
- ? WWFと第三者機関が目標の達成度を検証



チーム・マイナス6%への参加



京都議定書の目標を達成するための、
一人ひとりのアクションプラン

参加団体 :19,581組 (5/1時点)

□取り組み事例

- ? 目安となる室温の奨励と協力要請
- ? 軽装・ノーネクタイ・ノー上着の推奨
- ? エレベーター 階段利用
- ? 冷暖房の調整、節電・節水の励行
- ? 省エネ型の器具 (照明等) への変更 など・・・

～地域の行動が、地球の美しさにつながる～



ソニーセミコンダクタ九州 (株)
熊本テクノロジーセンター
地域の水資源を守る地下水涵養事業



豊かな森をつくる植林活動



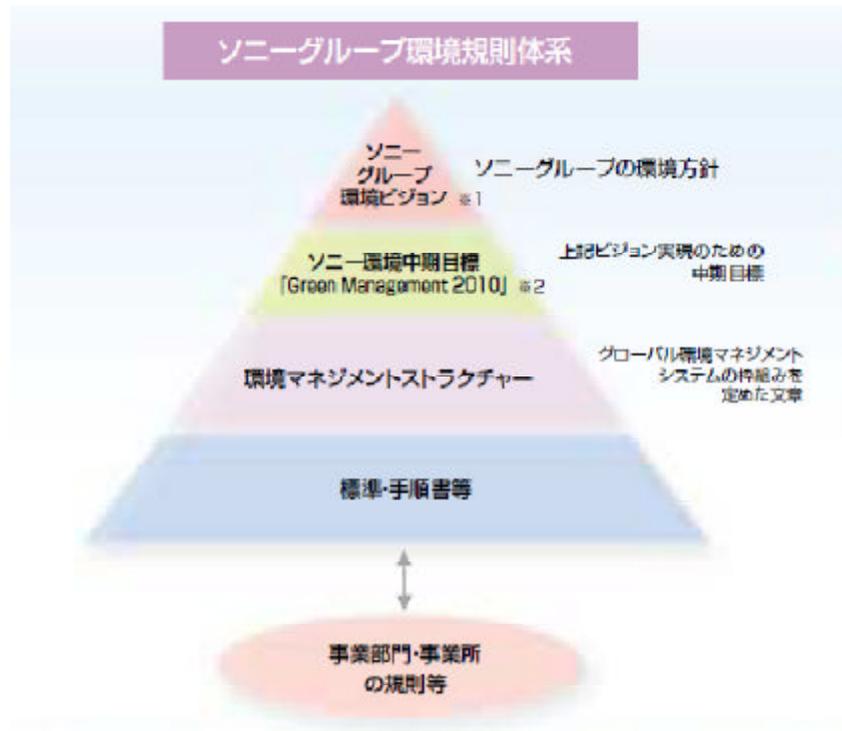
ソニーセミコンダクタ九州 (株)
大分テクノロジーセンター
完全地域開放型の公園を造成



ソニーイーエムシーエス (株)
幸田テック
自然林を保全し地域に開放



ソニーエナジー・デバイス 環境方針



環境スローガン
未来へ残す贈り物
きれいな地球と住みよい環境

環境方針
Environmental Policy

CO₂削減

製品環境に配慮

リスクの低減

未来へ残す贈り物
きれいな地球と
住みよい環境

省エネの実施

リデュース
リユース
リサイクル

ソニーエナジー・デバイス株式会社 代表取締役社長 山口哲男
Sony Energy Devices Corporation

The graphic features a central blue circle with 'CO2削減' (CO2 Reduction) surrounded by four green circles: '製品環境に配慮' (Consideration for product environment), 'リスクの低減' (Risk reduction), '省エネの実施' (Implementation of energy saving), and 'リデュースリユースリサイクル' (Reduce, Reuse, Recycle). The central message is '未来へ残す贈り物 きれいな地球と住みよい環境' (Gift to the future: a clean earth and a good living environment). The background is a blue sky and water scene.

製品に関する環境配慮

ボタン型酸化銀電池の無水銀化
新ポリマーバッテリー
ACアダプター待機電力の削減

ボタン型酸化銀電池の無水銀化技術開発と商品化

無水銀電池は、これを世界に先駆けて商品レベルで実現するものです。

ソニーでは年間約 4億個の酸化銀電池を販売しており、本技術を採用することで重量比約 **0.2%程度含まれる水銀添加量をゼロ**にする事が可能となります。

その結果、ソニーにおいては、**年間約320 Kg**規模の水銀使用を削減、環境負荷低減に大きく貢献しています。



2006年(第16回)「日経BP技術賞」



第1回 ものづくり日本人賞 経済産業大臣賞受賞

「ApeLion」新ポリマーバッテリー

ソニー独自技術であるゲル電解質の開発により、**セルラー用のリチウムイオン二次電池**として業界**トップ**の体積エネルギー密度を持つポリマー電池を商品化しました。

軽い・薄いといった従来ポリマーの特徴を継承しつつ、より高容量化を実現しました。



電池容量の高容量化
従来品比 体積エネルギー密度10%向上
低温特性
- 20 環境下の放電容量は従来品比で20%向上

ACアダプター待機電力の削減

従来、無負荷時に、ACアダプターの電源を接続していれば、**従来0.08W電力**が、消費されていました。

独自に開発した電源制御ICに待機時の制御を最適化すること。更に2次側の電圧、電流制御回路を最適化することにより、**待機時に、0.05W以下**へ待機時低消費電力の対応が可能になりました。



地域社会との共生型企業を目指して

環境コミュニケーション

地域社会貢献活動

- クリーンアップ運動
- 花いっぱい運動
- 地域との共生
- 子供たちへの環境技術紹介
- ランドセル贈呈式

クリーンアップ運動

清掃活動として、工業団地や国道沿い及び事業所周辺のクリーンアップ運動を実施しています。

ソニーエナジー・デバイス(株)4事業所において年2回、同日開催しています。

郡山事業所、本宮事業所では、事業所周辺のみでなく、近隣の駅や河川敷についても活動しています。

鹿沼事業所では、鹿沼市とのアダプトプログラムに基き、活動しています。



クリーンアップ運動 ～ 栃木事業所 ～

栃木事業所では、西坪山、下坪山工業団地の各企業にお声掛けし、当社を含め14社の賛同を頂き、開催しました。

作業内容は、工業団地全域及び新4号国道側道などの清掃を行いました。

回収したゴミは、鉄屑、廃家電、ビニール類、紙屑等を含めて約500kgとなりました。



花いっぱい運動

緑化活動として、市道側道や市有地の会社敷地境界線沿い及び事業所周辺の花いっぱい運動を実施しています。

社会福祉法人「希望の家」の方々が育てた花苗を購入すると共に、このボランティア活動に希望の家、構内協力会社、従業員の家族の方々等に参加を頂きました。



子供達への環境技術紹介

2005年11月5日(土)に郡山事業所において「**子供電池教室**」を開催しました。

社員の子供13名に対し**電池のしくみ及び電池キットを組み立て豆電球を点けてみたりと、真剣な実験が催されました。**

また、本宮事業所において社員の子供12名に対し「**りんごの収穫祭**」と「**子供エコクイズ**」を開催しました。

社内で栽培したりんごは、栃木県の施設の希望の家で、りんごパンに加工された後に福島県・栃木県の各施設に配布し、大変喜ばれました。



子供電池教室



りんご収穫祭

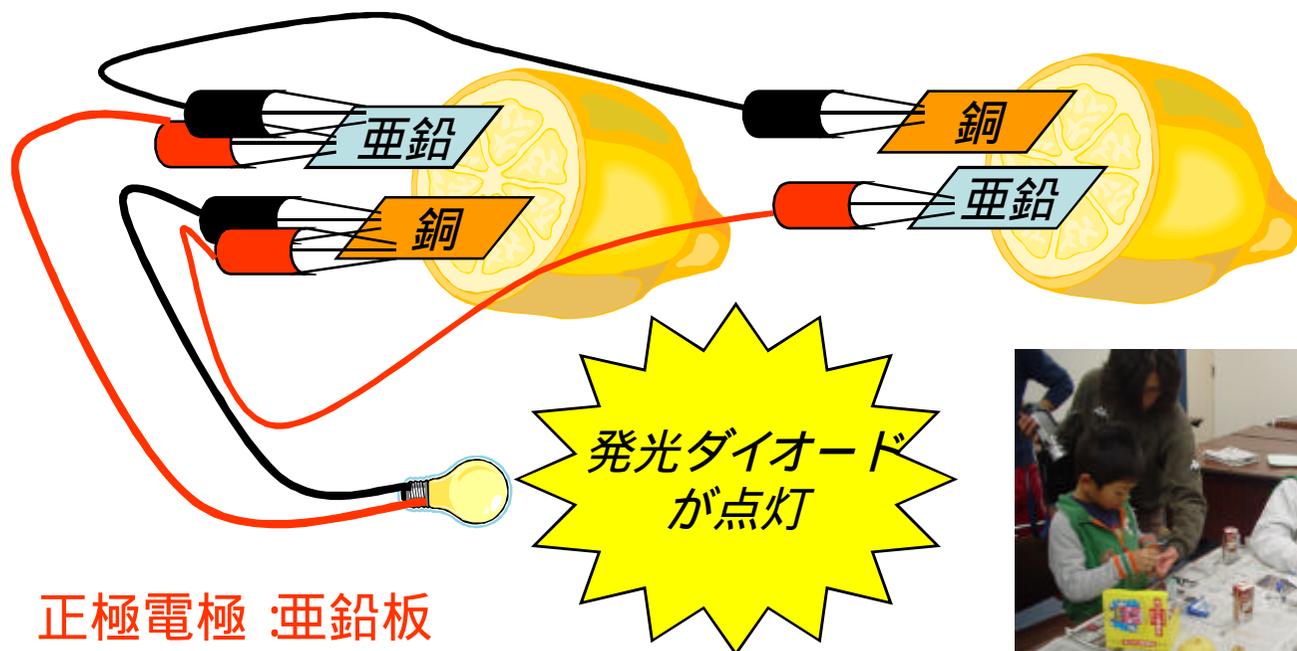


りんごパン贈呈

ソニー(株)エコクイズ

<http://www.sony.co.jp/SonyInfo/Environment/environment/communication/ecoplaza/ecolife/index.html>

□ レモンで電池を作ろう。

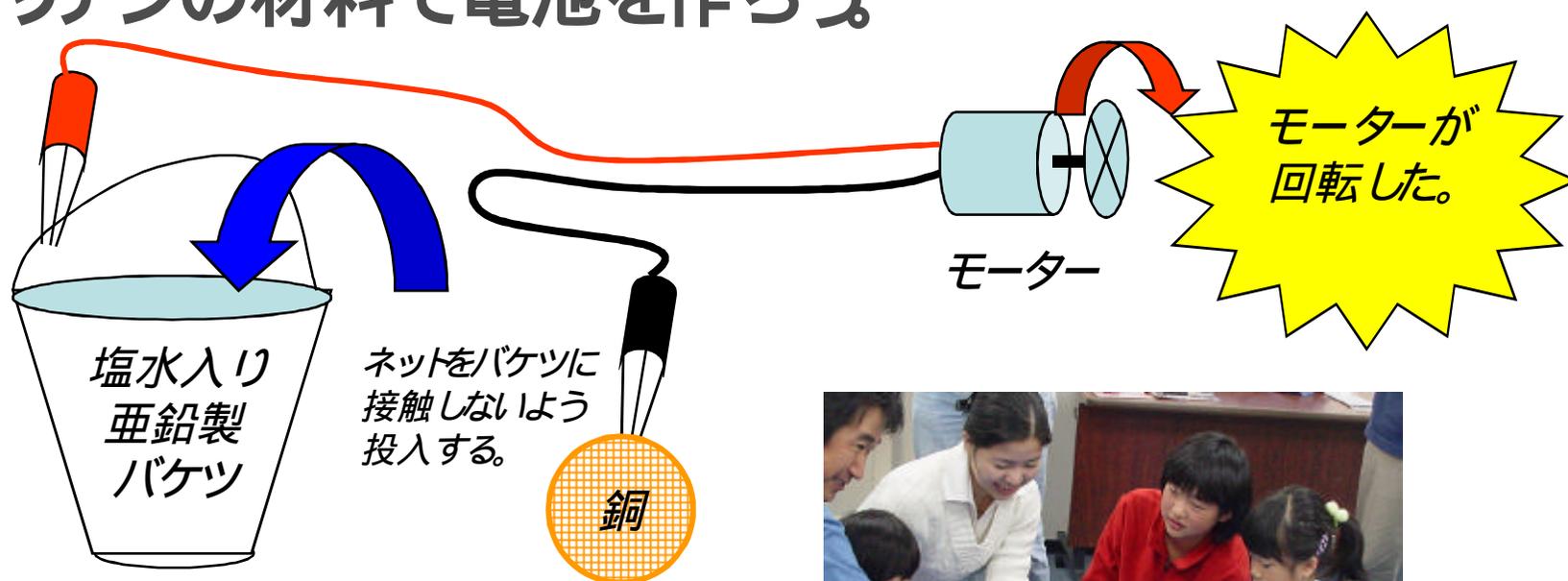


正極電極 :亜鉛板
負極電極 :銅板
電解液 :レモンのクエン酸



レモン1個では電圧が足りなく点灯しなかったのが残念そうでしたが、**レモン2個を直列に接続することにより点灯したので「点いた」との歓声が出ました。**

□キッチンの材料で電池を作ろう。

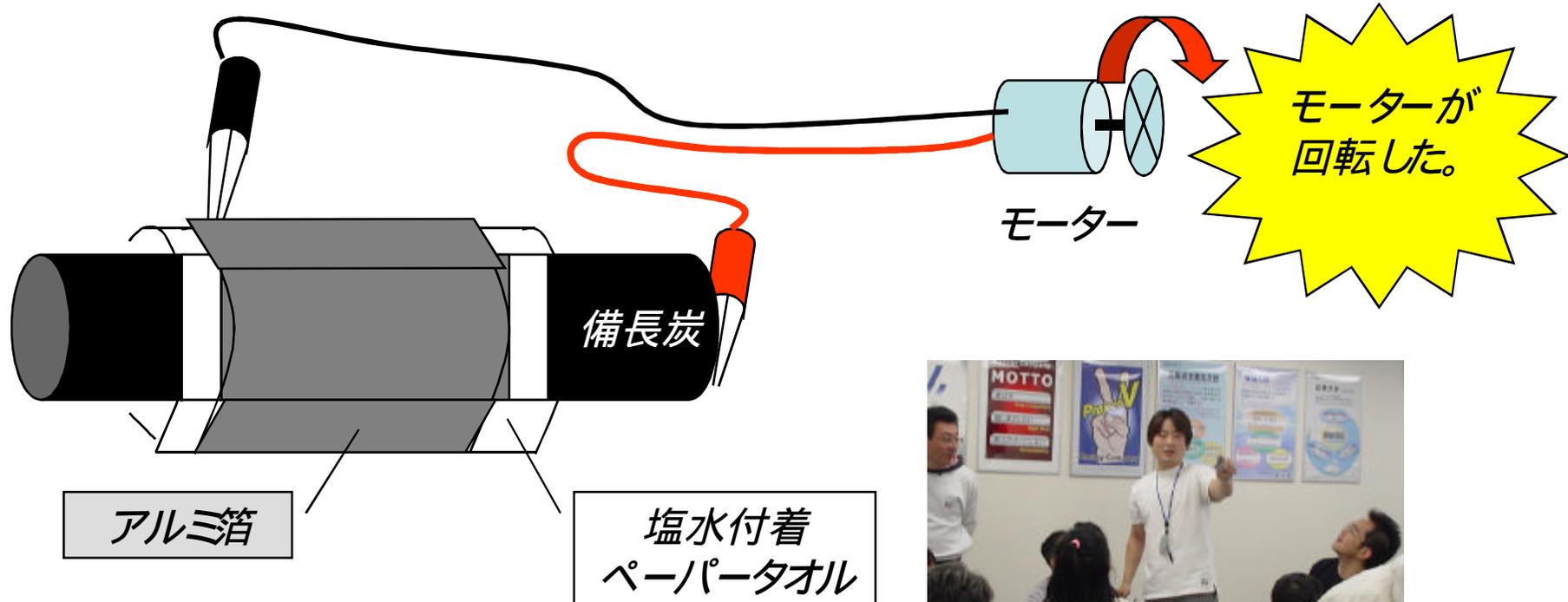


正極電極 : 亜鉛のバケツ
負極電極 : 銅のネット(網)
電解液 : 食塩水



何で電池になるのか不思議で、何度もバケツに銅の網を入れてモーターが回ることを確認していました。

□ 備長炭で電池を作ろう。



正極電極 : 備長炭
負極電極 : アルミ箔
電解液 : 食塩水



ソニーエナジー デバイスが開発したリチウムイオン電池は塩水やレモン汁の代わりに「リチウム」と言う物質を使うことにより、何度も充電し再使用が出来る地球に優しい電池であることを教えました。

子供達への環境技術紹介

2006年8月8日(火)、18日(金)、25日(金)に夏休み子供職場見学会を開催しました。

会社概要説明、職場見学、テクノロジー(電子顕微鏡)を使用した観察実験などの他、ソニーエナジーデバイスの環境活動の紹介、ソニー(株)が開発した柑橘系果物の外皮から採取し精製されたリモネン油による発泡スチロールを溶解するリサイクル技術の説明・実験を行い、環境問題に興味をもつ契機となりました。



リモネンによる発泡スチロール溶解実験

ランドセル贈呈式

4月に小学校に入学する社員のお子様を対象として、各事業所においてランドセル贈呈式を開催しています。

ランドセル贈呈式は、創業者の一人である井深大さんが昭和34年から社員のお子様の健やかな成長と、21世紀を担う人材に育つことへの期待を込めて始められた行事で、そのご意志を受け継いで、ランドセル贈呈式を開催しております。

今年は、社員のお子様たち104名が、4月よりそれぞれの小学校へ入学されます。



地域との共生

花いっぱい活動、クリーンアップ運動、子供達・保護者等への環境啓発活動、地域社会（行政、希望の家、知的障害者施設、デイケアセンター等）との幅広い交流活動等が評価され、平成18年度あしたのまち・くらしづくり活動賞」表彰、栃木地方審査最優秀賞」を受賞し、栃木県の推薦を頂き、中央（全国）審査において振興奨励賞」受賞しました。

また、福島県からは平成18年度の「うつくしま、ふくしま環境貢献賞」を受賞しました。

栃木事業所



本宮事業所の地域社会貢献活動としてゴミゼロクリーンアップ活動及び緑化活動など地道な環境保全活動に対する功績が認められ、「うつくしま、ふくしま環境貢献賞」を受賞しました。

本宮事業所



今後も地域とのコミュニケーションをより高め、信頼関係を構築して行きます。

END

